

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜特別支援学校

学校番号 (56)

評価実施日

令和3年 2月16日 (火)

委員	氏名	所属等	備考
	大江 真輔	社会福祉法人 わかば会 障がい児者相談支援事業 相談支援専門員	
	大西 悦子	絵手紙サークル「ゆめの会」代表	
	佐々木 龍	新居浜医療福祉生活共同組合理事長	
	豊田 昭男	新居浜市社会福祉協議会	
	三並 保	新居浜市中萩校区連合自治会 (会長)	
	矢原 友美	P T A会長	
	岡崎 康恵	P T A副会長	
	長井 法義	P T A副会長	
	青木 美紀	P T A副会長	
	工藤あづさ	P T A副会長	
	木村絵理子	P T A副会長	
	角 理恵	P T A副会長	
	井上 陽子	P T A副会長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 今年度の最終評価について

(1) 学習指導

新型コロナウイルス感染症拡大防止の中で教育活動には創意工夫が求められる。児童生徒に対して学習活動が「分かりやすい」「丁寧である」という観点を大切に取組が工夫されるとよい。

(2) 児童生徒会活動

児童生徒、保護者ともに昨年度と比べて評価が低くなっている。その要因をふまえ全体に周知されるとよい。

(3) 進路指導

キャリア教育、進路指導についてはできるだけ体験的な学習、実際に役立つ内容になるとよい。

- 「食育」「キャリア教育」などの観点も一層踏まえながら、児童生徒の興味関心や主体的な活動を促す授業の実践に、努めていく。学習の様子や将来を見据えた支援の在り方について教員間の連携を図っていく。

- ホームページでの発信などの際に、どの活動が「児童生徒会活動」を指しているかが分かるような具体的な紹介の仕方を工夫をしていく。

- 次年度も地域の企業や事業所から保護者が説明を聞ける機会や外部講師を迎えての授業等を設け、早期から進路意識が高まるように、全校の保護者にも積極的な参加を呼び掛けていく。

2 学校運営への提言

(1) ICT機器の活用や有効な活用方法の研究、紹介に期待している。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の一環として「感染症」に対する「衛生教育」を進めて安心できる学校教育を送れるようにするとよい。

(3) PTA活動では、多くの人が参加してもらえらるような取組があるとよい。

(4) 外部講師の活用など、児童生徒への積極的なキャリア教育を進めていただきたい。

・児童生徒用のタブレットが、一人一台配付されるため、これまでのICT機器の活用に加えてより有効な活用方法を研究し、児童生徒の興味、関心を引き出していききたい。

・「3密」の回避や手洗い、マスクの着用など引き続き感染症対策に努めていく。感染症予防についてはそれぞれの発達段階に応じて機会あるごとに指導を行っていく。

・PTA活動に 関心を持っていただけるようPTA理事会記録の配付や座談会報告を行う。マチコミメール等を利用してPTA活動への保護者の参加、協力の呼び掛けを行っていききたい。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら各学部年間2回のキャリアガイド教室、高等部においては年間3回実技指導アドバイザーによる指導を実施していく。